

## II 平成 27 年度南区地域自立支援協議会構成及び活動方針

### 1 構成

#### (1) 代表者会議 南区にある障害児者支援機関代表者

地域活動ホームどんとこい・みなみ (所長)	地域ケアプラザ所長会 (代表)
横浜市南福祉保健センター (センター長)	横浜市立中村特別支援学校 (校長)
横浜市南区社会福祉協議会 (事務局長)	横浜国立大学教育人間科学部附属特別支援学校 (副校長)
(福) 恵友会 南区生活支援センターサザンウインド (法人理事長)	神奈川県立こども医療センター (重心施設施設長)
(福) たすけあいゆい たすけあいゆい 障害者相談支援センター (法人理事長)	市民総合医療センター (地域連携相談部係長)
(福) たすけあいゆい 児童デイサービスさくらんぼ (法人理事長)	横浜市南福祉授産所 (所長)
横浜市中部地域療育センター (所長)	活動ホーム南福祉ホームむつみ (所長)
横浜市中心児童相談所 (所長)	南区障害者地域作業所連絡会 (代表)
(福) 神奈川県匡済会救護施設横浜市浦舟園 (所長)	南区障害児者団体連絡会 (会長)
(福) 横浜愛隣会更生施設民衆館 (所長)	中途障害者地域活動センターフレンズ南 (所長)
(福) 横浜市社会事業協会更生施設横浜市中心中央浩生館 (所長)	

#### (2) 定期連絡会

南区の障害児者支援にかかわる支援者
-------------------

#### (3) 専門部会 \*各部会長を置く(平成 27 年度も引き続き設置しない)

精神障害部会、知的障害・身体障害部会の2部会を置く。また、グループホーム部会設置の方向で調整中です。
--

#### (4) 事務局 \*事務局長を置く(地域活動ホームどんとこい・みなみ副所長)

地域生活支援センター南海(地域活動ホームどんとこい・みなみ)、南区生活支援センターサザンウインド、南区社会福祉協議会、南区高齢・障害支援課、南区福祉保健課、各専門部会長
--

### 2 年間計画(予定)

月	代表者会議(年1回)	定期連絡会 (年2回)	専門部会	その他活動
4			随時	
5			↓	
6			↓	
7			↓	南区卒業生進路懇談会 28(火)
8			↓	スキルアップ研修
9			↓	
10		中間報告・勉強会 20(火)	↓	
11			↓	
12			↓	公開講座 ↓
1			↓	南区卒業生進路懇談会 19(火)
2			総括	
3	活動報告・活動方針 15(火)	年間活動報告・専門部会設立 17(火)		

### 3 平成 27 年度活動方針

#### 障害者相談支援事業の浸透、個別支援会議の普及。

ケアマネジメントの視点を共有するために各事業所を定期的に訪問し、個別支援会議開催のための支援を行っていく。

#### 障害者相談支援事業の浸透、個別支援会議の普及

##### イ) 知的・身障系事業所 個別支援会議開催支援 ※資料 2 参照

- ・各事業所(作業所・CH など)に訪問し、相談支援員・区ケースワーカーが各事業所の要望や現状に合わせて個別支援会議開催を支援していく。また、各事業所の個別支援会議や個別支援計画作成会議等の傍聴も行います。

◎上記の活動から将来的には、個別支援会議が活発に行われる地域となり、その積み上げの中から地域課題を抽出し、地域課題に則した専門部会の設立が出来るような地域になる事を目標とする。

##### ロ) 精神系事業所

- ・精神系事業所については精神の専門部会での活動を中心とする。  
詳細は「4 専門部会活動内容」の頁を参照。

##### ハ) 担当

地域生活支援センター南海相談員、サザンウインド相談員、南区高齢・障害支援担当ケースワーカー等

## 4 専門部会活動内容

イ) 知的障害・身体障害部会、精神障害部会の2部会とする。

### 【知的障害・身体障害部会】

知的障害・身体障害部会は名称をそのままとして、内容はテーマ毎の分科会とする。平成26年度は前年度に引き続き以下の分科会のみとする。

**重症心身障害児・者分科会**：事例検討を軸に関係機関で具体的な協議を実施する。また、進路に関しては進路懇談会とは峻別し、当分科会で協議していく。(参加者：中村特別支援学校・上菅田特別支援学校・中央児童相談所・こども家庭支援課・こそあどぐるん・どんとこい・みなみ)

### 【精神障害部会】

「事例検討・発表を活動の主軸とする。」

事務局で参加事業所を選出し依頼。各参加機関からの事例検討を継続し、事例を通して各施設の紹介、顔の見える関係・支援者間での連携の図れる地域作りを目指す。また、事例検討を重ねる中で課題が浮き彫りになる様にしていき、その課題について議論を深められるようにしていく。

<活動内容>

- ① 各事例から積み上げられた課題を集約しながら、年度ごとの課題の振り返りを行う。その、積み上げられた課題から時間をかけて地域課題を検討していく。
- ② 事例検討を通じ、事業所の支援内容を他施設・機関に紹介することで、お互いの業務を理解した幅広いネットワークを構築していく。

ロ) 構成

- ・H26年度は部会長を置かない
- ・事務局長：地域活動ホームどんとこい・みなみ 倉品 和文、事務局担当者：地域生活支援センター南海 (村山 耕介、中村 初美、逸見 久)、南区高齢・障害支援課、南区社会福祉協議会、南区生活支援センターサザンウインド

### 【知的障害・身体障害部会】\*重症心身障害児・者分科会

こども医療センター・中村特別支援学校・上菅田特別支援学校・中央児童相談所・こども家庭支援課・こそあどぐるん・どんとこい・みなみ

### 【精神障害部会】

定期連絡会参加機関及び区内精神障害関連事業所に参加を募る。また、昨年同様に状況の変化に応じて参加できるような形態をとる。メンバーは、実務者レベルで構成されることが望ましい。

ハ) 開催予定

- ・第1回6月19日(金)精神障害部会 15:00~17:00 南区社会福祉協議会多目的室。年間予定については、第1回精神障害専門部会にて発信。
- ・重症心身障害児・者分科会については第1回を7月23日(木)に予定。詳細は調整後、参加者に発信。